

平成29年度

小・中学生フォーラム in 落合第六小学校



新宿区では、毎年、小・中学生と区長が意見を交換する「小・中学生フォーラム」を開催しています。このフォーラムは、子どもたちの意見を区の施策の参考にするとともに、子ども自身が新宿のまちに関心と愛着を持ち、区政に積極的に参加することを目的とするものです。

10月27日(金)、落合第六小学校(西落合4-11-21、校長:竹村郷)の5年1組・2組の計48名の代表が、「落合食農プロジェクト」の取り組みについて発表しました。このプロジェクトは、児童が千葉県旭市で農家の方に農業や無農薬野菜について学びながら田植えや野菜の収穫をしたり、シェフの方にプロの料理法を教えてもらって収穫した野菜を調理したり、また、学校の屋上での野菜づくりなどから学ぶ総合学習授業です。プロジェクトに参加した児童たちは、楽しかったこと、嫌だったこと、難しかったこと、できるようになったこと、農家の人の大変さがわかるようになったことなど思い思いの感想をおりまぜながら発表を行いました。

プロジェクトの発表後、吉住健一区長から「田んぼに入って気持ち悪かったり、気持ちよかったりいろいろな感想があったけど、生きていくうえで大切な体験をしたと思う。作物は成長の段階で、水だったり日照だったり必要な栄養を与えなければ成長しないけれど、私たち人間も同じで、成長の段階で必要な栄養を与えてもらい、周りの人達に育まれて成長している。今回の体験は、そういうことを考えるいいきっかけになったと思う。嫌なところを乗り越えて楽しく感じられたことはとてもよかったし、これからもさまざまな体験をして成長してほしい。」と話がありました。この後児童たちから区長に、好きな食べ物から区政に至るまで幅広い質問があり、区長が一人ひとりの質問に答えて和気あいあいとした有意義なフォーラムとなりました。

最後に校長先生から、児童たちに「これからも新宿区の良さを発表していきましょう。」と話がありました。

